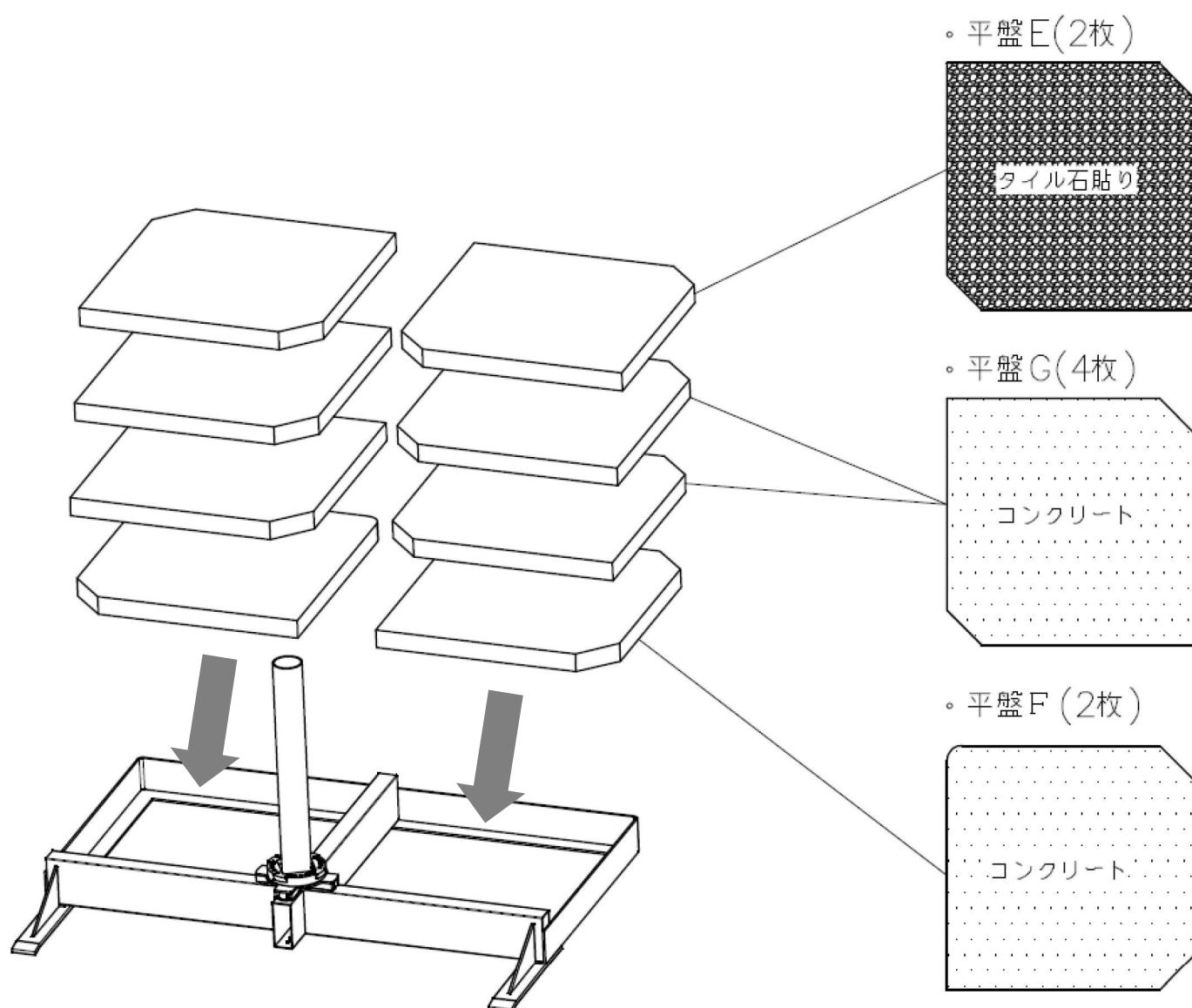


# 「フレクシー」 平盤の配置について

※仕様変更により平盤の形状が変更になりました

平盤: 全3種 (E・F・G)

平盤の配置は下図の順番、方向にて配置してください。





# FREXY

フレクシー

## 取付・取扱 説明書

ご使用前に必ずお読みください。

この説明書は「フレクシー」を安全に組立て、取扱うためのものです。説明書に従って組み立ててください。  
 万一無視された場合、破損やけがの原因になることがあります。  
 不明な点がございましたら、販売店にご相談ください。



この警告/重要マークが付く説明内容については特に注意をしてください。ただし、この説明書のその他の説明が重要ではないということではありません。

この説明書は今後、必要な時のために大切に保管してください。

### ＜安全のための重要な説明＞



以下の部分にご注意ください。

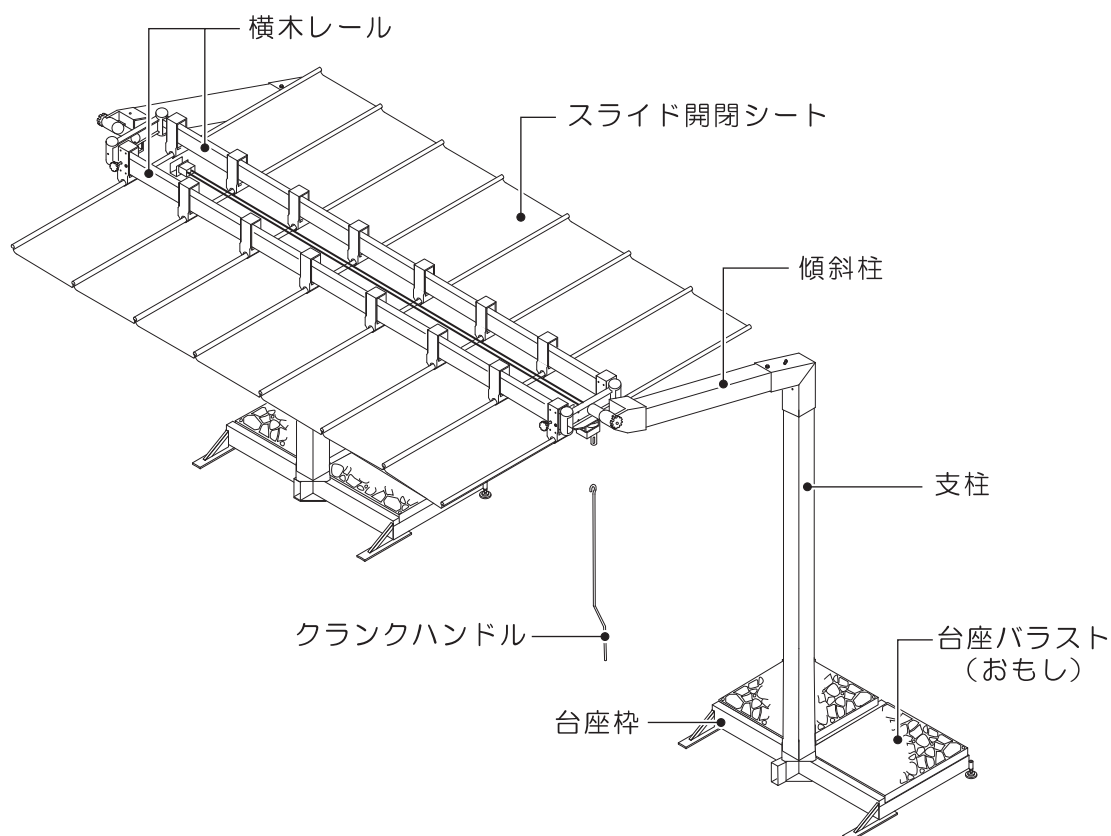
#### 1. 説明

「フレクシー」の組立て説明内容をよく読んで施工してください。説明内容にそって「フレクシー」の組立て施工をされなかった場合、けがや破損の原因になることがあります。安全にお使いいただくために、この説明書をよく読んでお使いください。

#### 2. 警告

この「フレクシー」は悪天候のための物ではなく、日よけ用の物です。強風・雷雨・豪雨や雪の時には、シートを閉じて専用の「保護用カバー」をかけてください。また夜間やシートを確認できない時には、常にシートを閉じて「保護用カバー」をかけてください。それぞれの台座には指定枚数のバラスト（石などのおもし）、または最低250kgで安定させてください。

### 姿 図



## ＜組立て説明書＞

構成部品 (図1、図2A、図2B、図2C、図3)

図 1	A	スライド開閉シート	図 2B	E	支柱
	B	保護用カバー		E'	支柱
	C	横木レール (長) 2本	図 2C	H	工具類袋
	D	横木レール (短) 2本		N	台座用かぎレバー
	R+R'	継ぎ手		I	クランクハンドル
	S	ハンドルネジ			
	W	六角レンチ			
図 2A	F	傾斜柱 (右)	図 3	L	台座枠 2セット
	G	傾斜柱 (左)		M	台座安定金具

図 1

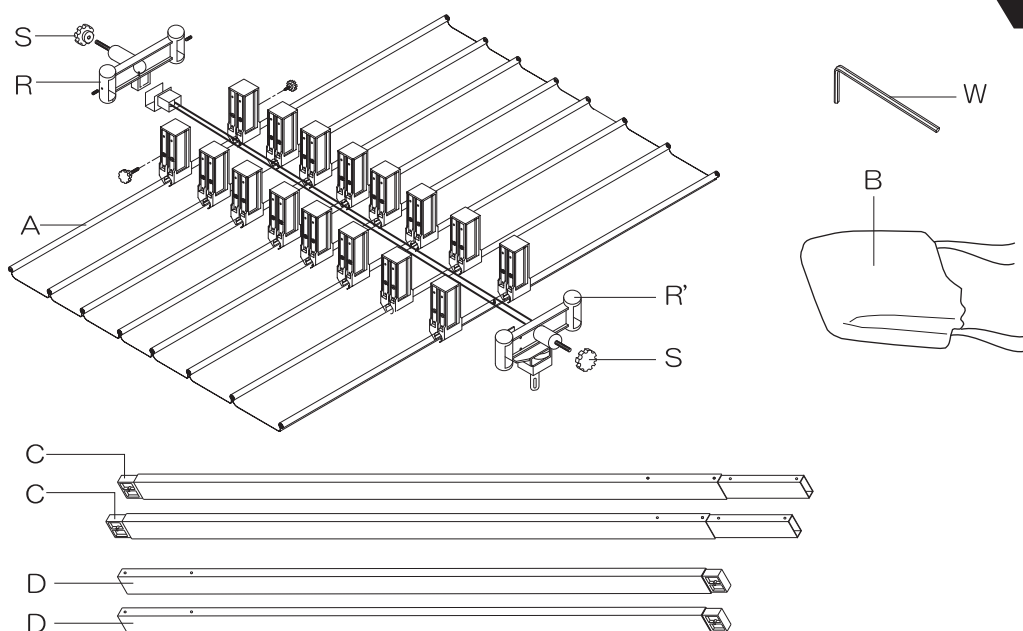


図2A

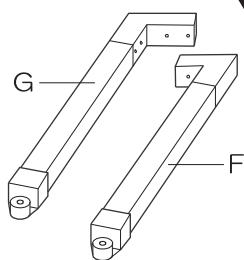


図2B

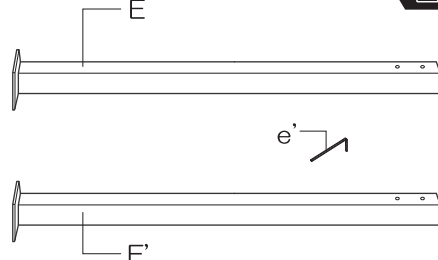


図2C

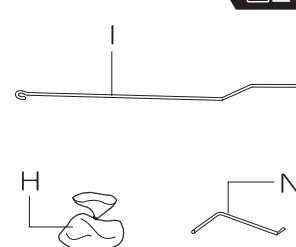
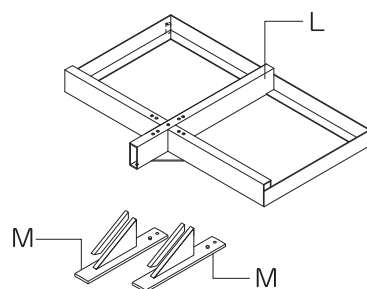
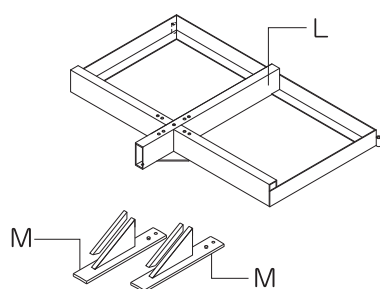


図 3



## 台座の組立てと配置 (図2C、図4、図5、図6参照)

1. 図2Cの工具類袋(H)から、組立て用の付属品を取りだします。
2. 図4の4本のビス(h)がそれぞれの穴に、入りやすいように台座枠(L)を持ち上げます。  
図4のように台座金具(M)を配置します。台座枠(L)に支柱(E/E')を配置してビスでとめます。

**重要** ビス(h)を図のように(下から)差し込んで、台座調整ネジ(h')を差し込みます。  
台座にがたつきがないように、台座調整ネジ(h')のナットで高さを調整しながら水平にしてください。



台座のボルトは強くしめてください。

3. スライド開閉シートの各サイズに適切な間隔(Z)をとり、2つの台座枠(L)を配置します。(4ページ図6)  
サイズ250cm×369cm: 間隔(Z) 3915mm



2つの台座枠が平らな地面で、直線上に水平に配置されているかを確認してください。

4. 台座用かぎレバー(N)を使い、台座枠に専用の石板(50cm×50cm)を最低4枚差し込み、それぞれの台座を安定させてください。(図5)

図4

※ 下面のコンクリートは角(面取りしていない)の部分が、x'の位置になるように設置してください。

上面の天然石貼りは面取りした部分がx'の位置になるように設置してください。

ナットをまわして台座枠のがたつきがないように調整してください。

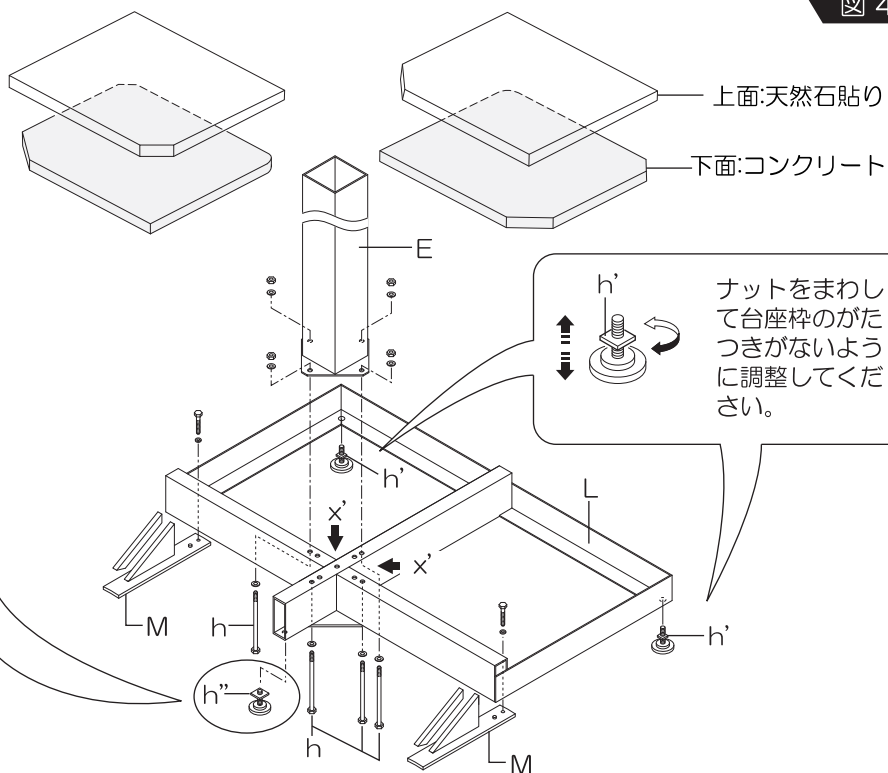
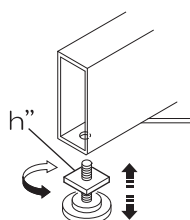
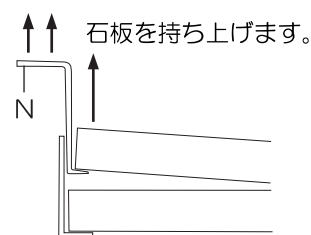
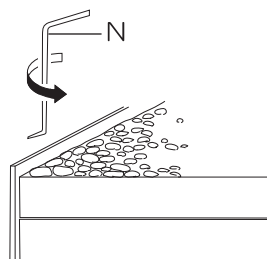


図5

## 石板を台座枠から外す場合



台座用かぎレバー(N)をご使用の際滑ることがありますので、取扱いにご注意ください。

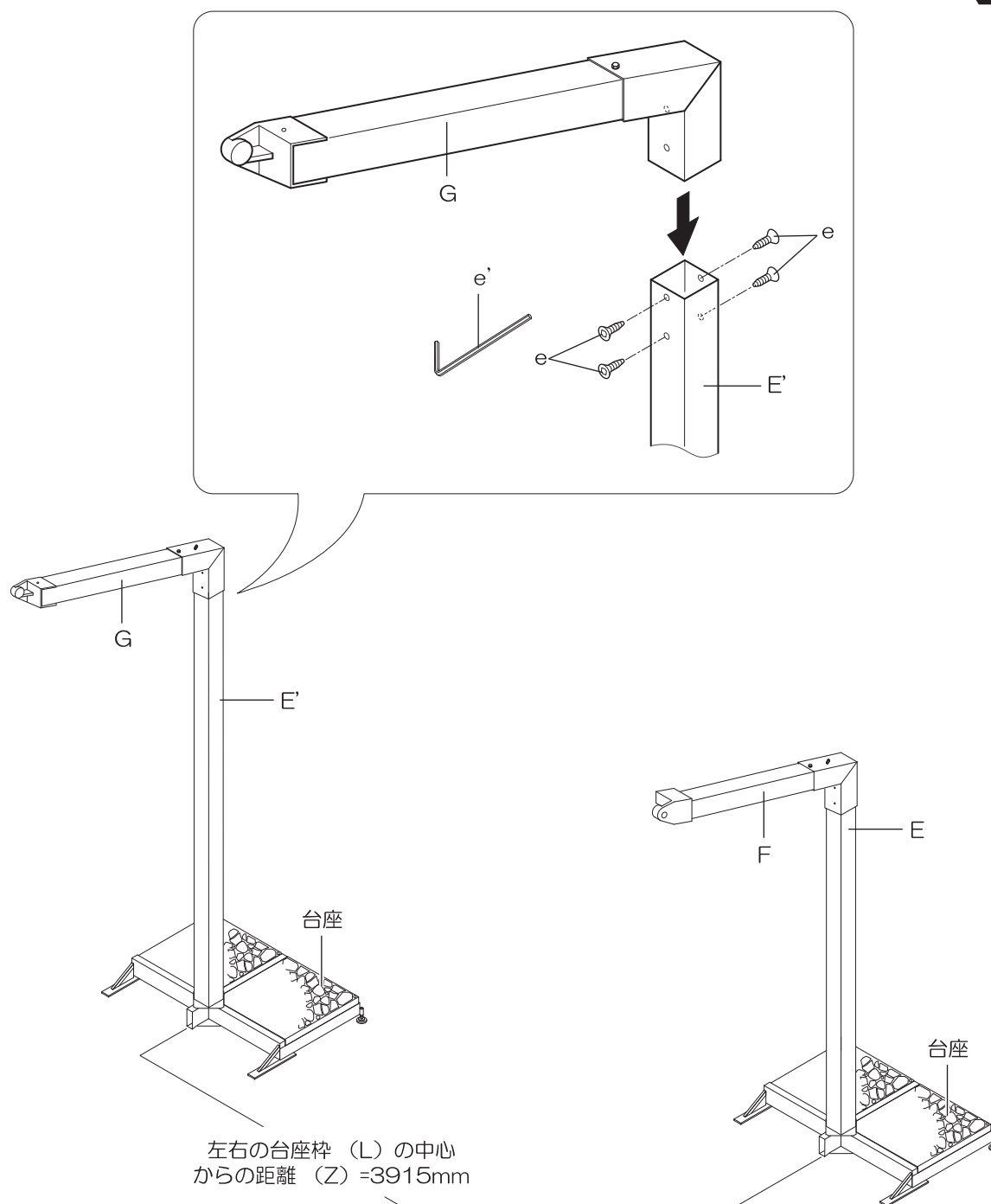


石板を持ち上げます。

## 支柱の組立て (図6参照)

1. 支柱 (E'), (E) にあらかじめ付いているネジ (e) を外してから、傾斜柱 (F), (G) をそれぞれの支柱 (E), (E') に差し込んで、外したネジ (e) を付属のレンチ (e') で締めて組立てます。(図 6)
2. 左右の台座には指定枚数のバラスト (石などのおもし)、または少なくとも重量が250kgになるように調整してください。

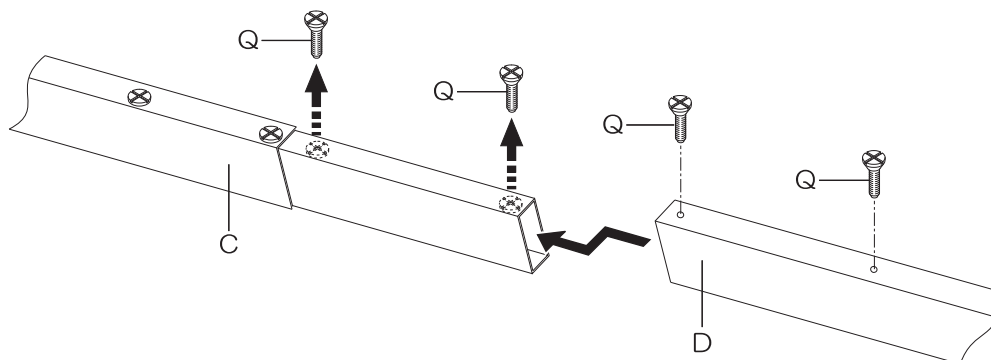
図 6



## スライド開閉シートと横木レールの取付け ① (図7、図8参照)

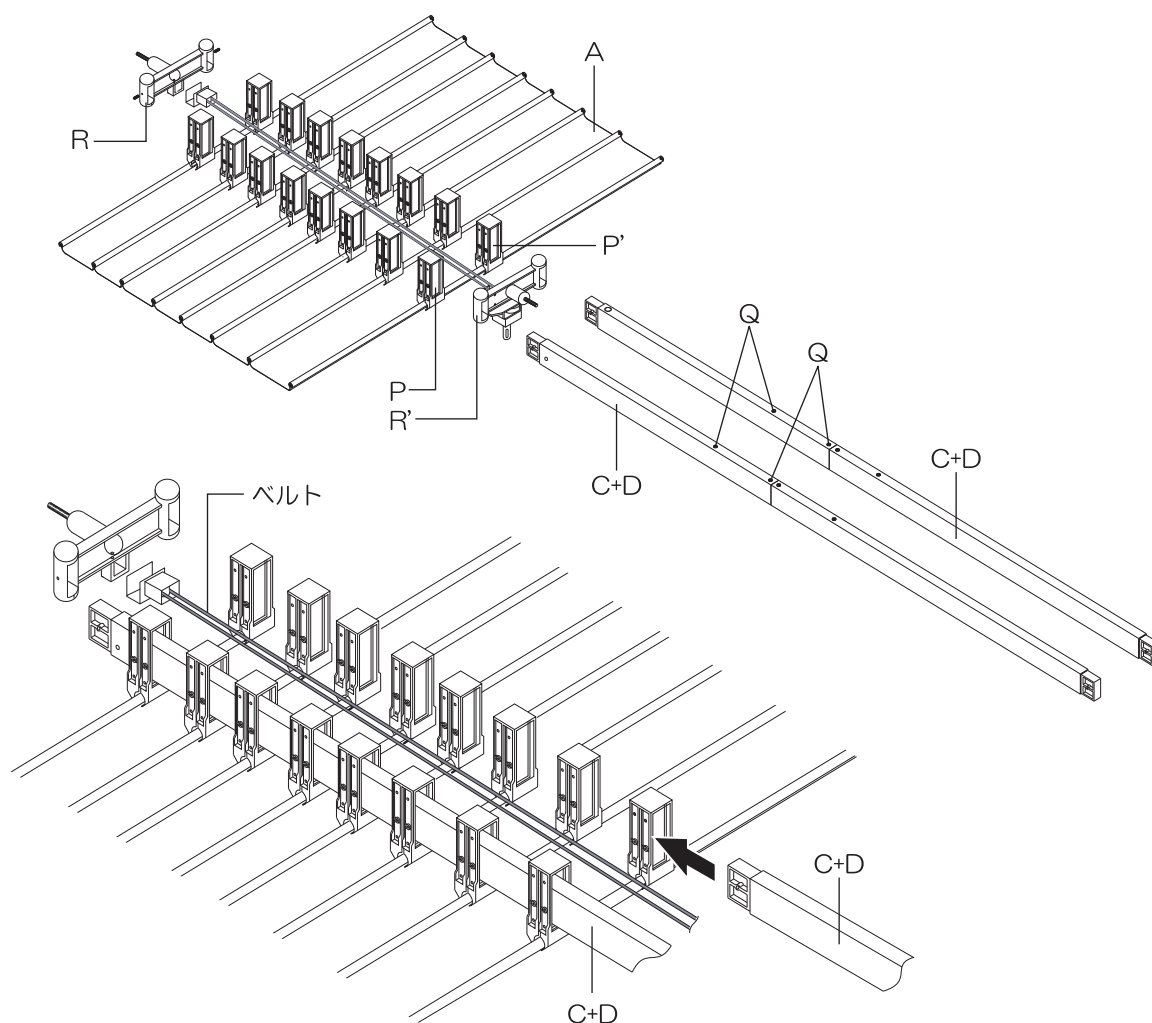
1. 横木レール (C) にあらかじめ止めてある2本のビス (Q) をはずしてから、横木レール (C) と (D) をはめ込んでつなぎビス (Q) で止めます。(図7)

図 7



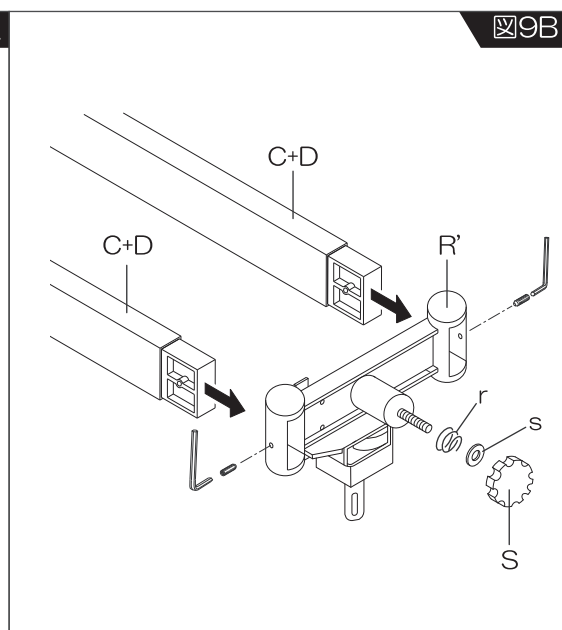
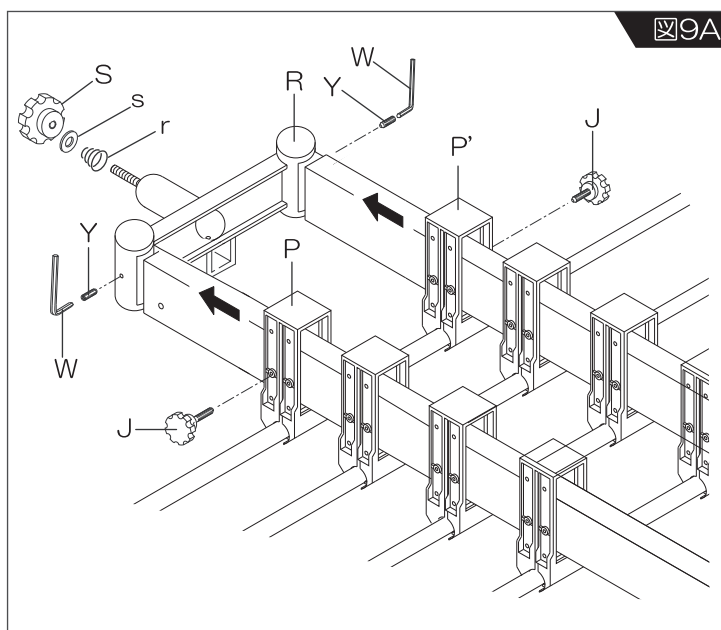
2. ガイド (P) を図8のように線上に並べて配置します。 ビス (Q) で止めた側を上方向にして、横木レール (C+D) をガイド (P) に差し込む準備をします。 この時2つのベルト端部が、からまっていないことを確認してください。
3. 2本の横木レールをガイド (P) , (P') にそれぞれ差し込みます。(図8)

図 8



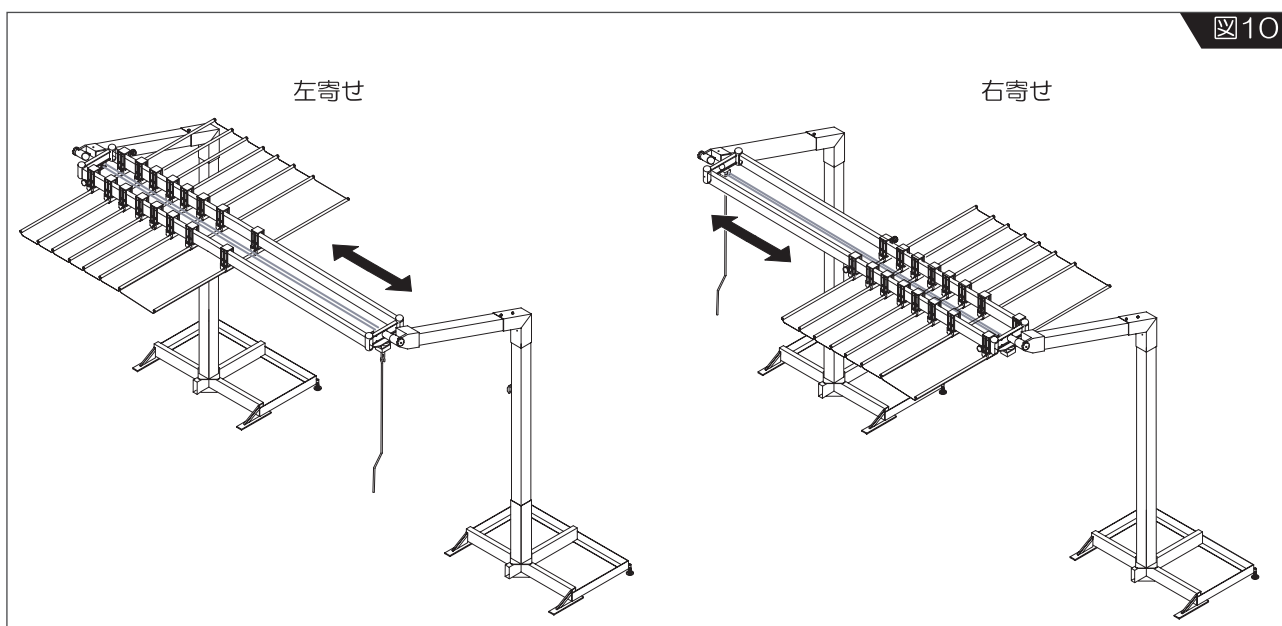
## スライド開閉シートと横木レールの取付け② (図9A,図9B参照)

4. 継ぎ手の左右 (R), (R') にそれぞれ横木レール (C+D) を差し込み、六角レンチ (W) を使って取付けビス (Y) でしっかり固定します。
5. ガイド (P), (P') を継ぎ手 (R), (R') に向かって押しつけ、つまみボルト (J) を横木レール (C+D) の穴にさし込んで固定します。
6. 左右の継ぎ手 (R), (R') からハンドルネジ (S) と座金 (s) を外します。ただし円錐バネ (r) はこの時には外さないようにしてください。



## スライド開閉シートの収まりについて (図10参照)

スライド開閉シートを反転させることで左右どちら側にも収納側を選ぶことが可能です。(図10)





## スライド開閉シートの取付けとベルトの取付け (図11参照)



商品の破損を防ぐためにも、作業員2名以上で脚立2台を使用して作業を行ってください。

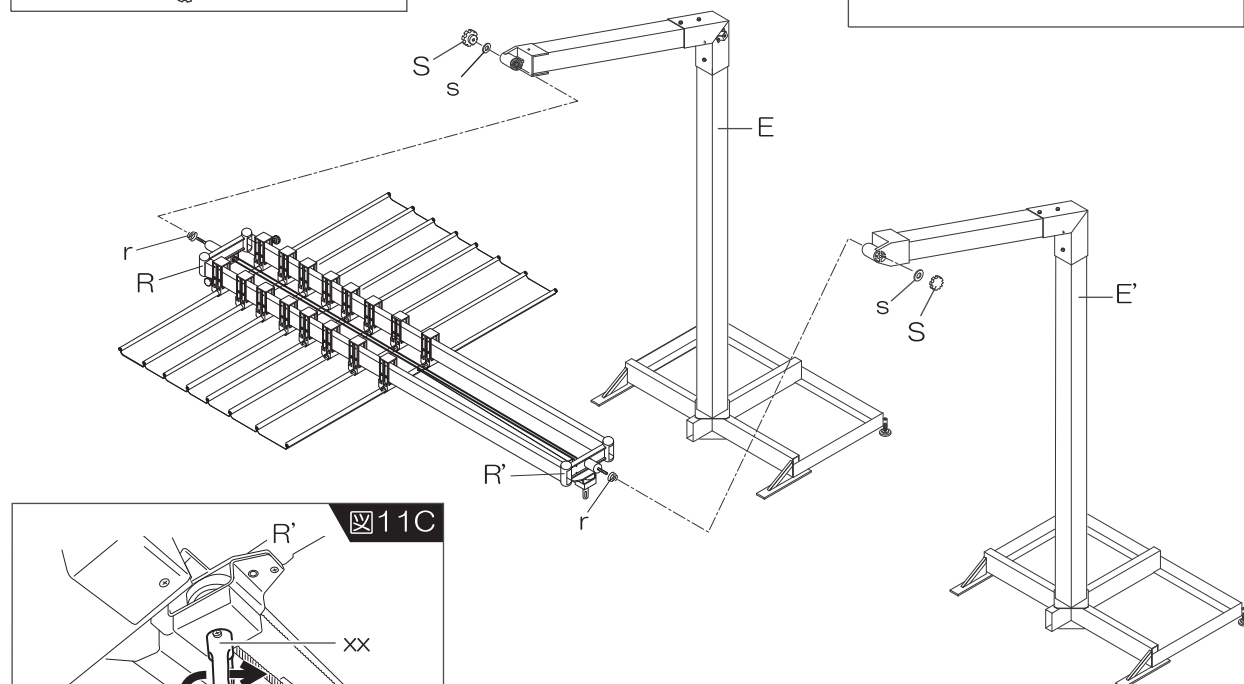
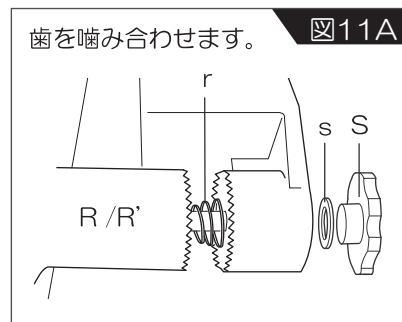
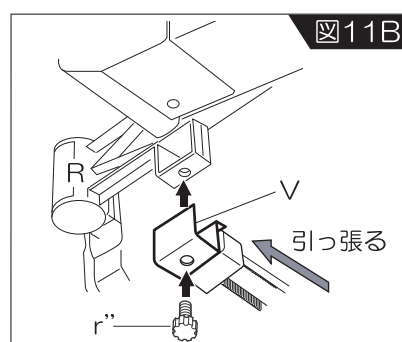


**重要** スライド開閉シートを持ち上げる前に、左右のシートの収納側を確認してください。

1. 継ぎ手 (R'), (R) の円錐パネ (r) の位置を確認し、スライド開閉シートを持ち上げます。
2. 継ぎ手 (R'), (R) をそれぞれの支柱に合わせ、座金 (s) を傾斜支柱の継ぎ手の間に配置し、ハンドルネジ (S) で閉めて固定します。(図11A)  
継ぎ手の歯どうしがかみ合わない時は、円錐パネ (r) の位置を再確認してください。(図11A)
3. 図11Bを参考にしてハンドホイール (r'') を外して、ベルトサポート (V) を引っ張り、継ぎ手 (R) に差し込んで締めつけます。この時ベルトがからんでいないか確認をしてください。
4. スライド開閉シートの開閉は、R' 側の継ぎ手のオープン機構 (xx) にクランクハンドル (I) をはめて、回して操作をしてください。(図11C)

※ クランクハンドルは操作時以外は外して保管してください。

図11

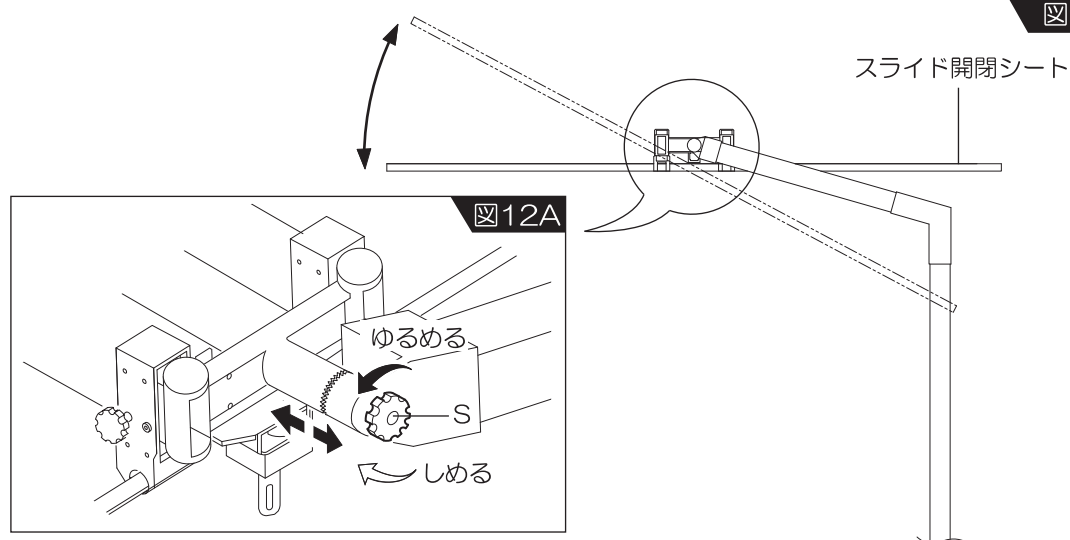


## スライド開閉シートの取扱い（図12参照）

## 1. 傾斜角度の変更

- ・ 左右両側のハンドルネジ（S）をゆるめ、左右の継ぎ手の歯のかみ合いを外します。
- ・ 継ぎ手（R, R'）の破損を防ぐため図12Aの矢印の方向へ継ぎ手を離します。ハンドルネジ（S）の方向へ傾斜柱を押しますと、継ぎ手を離すことが容易になります。
- ・ 両手でスライド開閉シートを上下させて傾斜角度を調整します。
- ・ 継ぎ手の歯がかみ合うように注意してハンドルネジ（S）をしめてください。

図12

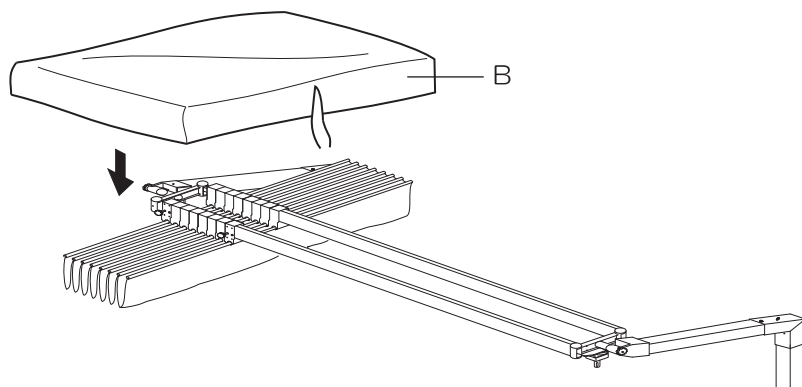


傾斜角度の変更を行った際は、かならず継ぎ手の歯がかみあうようにしっかりとめてください。

## シート用保護カバーの取付け（図13参照）

1. 保護用カバー（B）をかぶせてファスナーを閉じてから、付属の紐でしっかり結びます。

図13

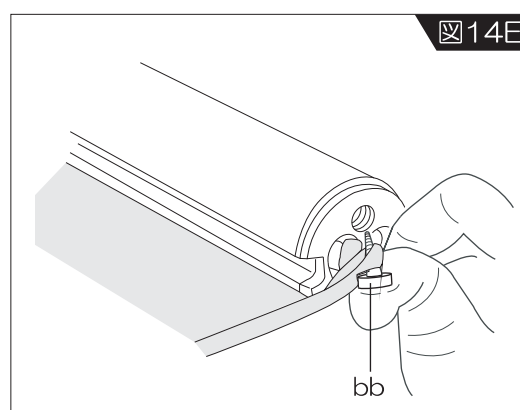
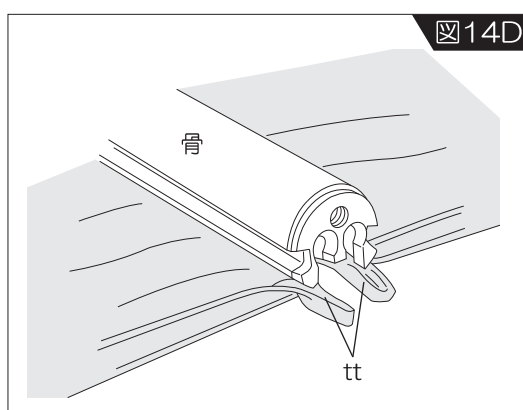
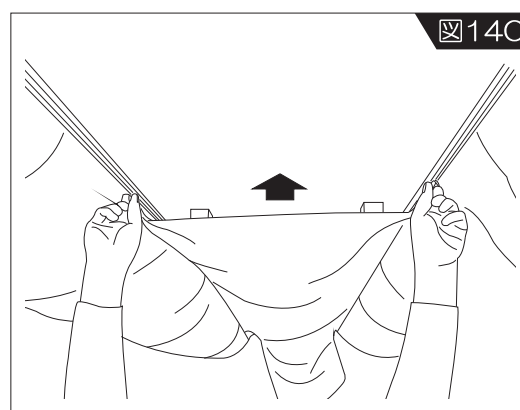
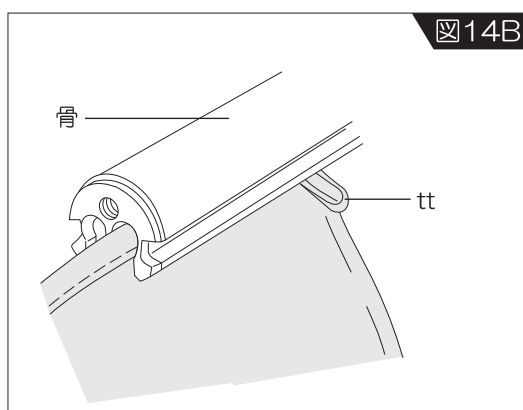
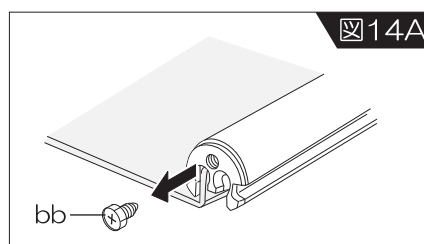


強風・雷雨・豪雨・雪の時、また夜間・「FREXY（フレクシー）」を常に確認できない状態の時には必ず保護用カバーをかけてください。シート部分に水がたまらないようにしてください。

スライド開閉シートの個々の取外しと取付け (図14参照)

1. スライド開閉シートの両側面の骨の先端からビス (bb) を外します。(図14A)
2. シートの先端を骨の溝にはさみ込んで、反対側の骨の全長の端まで完全に引きます。(図14B、図14C)
3. 各シートのつまみ穴 (tt) にビスを差し込みます。(生地によってはこのつまみ穴がない場合がありますので、必ず行う作業ではありません) (図14D、図14E)
4. 骨の両先端にビス (bb) を取付けます。

図14



## ＜メンテナンスと保護＞

### シーートの洗濯

- ・ シートを本体から取外しぬるま湯(約30℃)で、デリケートな生地用の洗剤を使って柔らかい布で拭いてください。その後十分にすすいでから、良く乾かしてください。シートを長くお使いいただくためにも、強い日の下での作業は避けてください。
- ・ 工業用の洗濯機で洗う場合は、シートを本体から取外し、中性洗剤で約40℃以下の温度で、プログラム調整はデリケートを選んで行ってください。良くすすいで乾燥機やアイロンは避け、陰干しの自然乾燥で乾かしてください。

### 季節の終わりの撤去と保管方法

- ・ 商品を長くお使いいただく為に、季節の終わりには「フレクシー」を撤去して、乾燥した場所に保管することをお勧めします。撤去する際には、本体を濡らした布で拭いて汚れを落とし、さらに良く乾かしてください。(シーートの洗濯は上記をご覧ください。)



本体が完全な状態かを確認してください。 部品に破損がある場合には、購入先に必要な部品交換についてお問い合わせをしてください。

- ・ 上塗装がはげた場合は、補修をしてください。作動する部分にはシリコンスプレーを吹き付けて、滑りを良くしておいてください。



カビや錆による損傷を防ぐためにも「フレクシー」を濡れた状態や湿ったままでの保管は避けてください。

## ＜アフターサービスについて＞

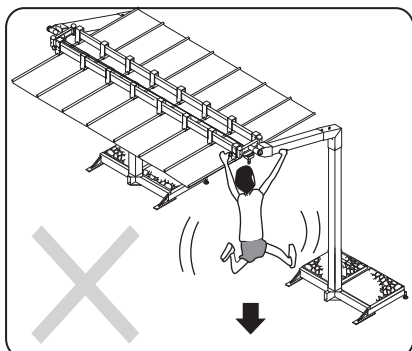
### アフターサービスについて

- ・ アフターサービスのご依頼・ご相談はお買い求めの販売店までご連絡ください。
- ・ お取り扱いまたはお手入れが適当でない為に生じた補修、および部品交換など是有償となる場合がございますのでご了承ください。
- ・ 製品の改良の為予告なく仕様を変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

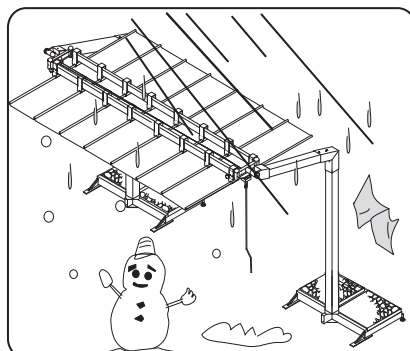
### その他

- ・ この商品は正しく取付け・ご使用になりませんと、大きな対物・人身事故につながるおそれがあります。取付け・ご使用の際には、この説明書を良くお読みいただき正しく使用してください。
- ・ この説明書に従わずお客様の不注意による商品故障・事故につきましては、弊社は責任を負いかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

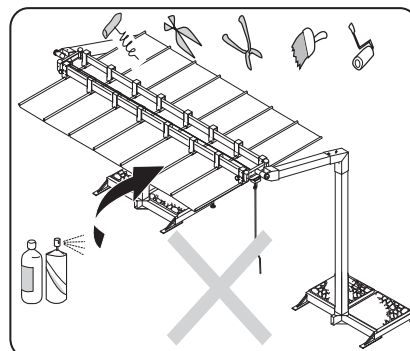
## 製品使用上の注意事項



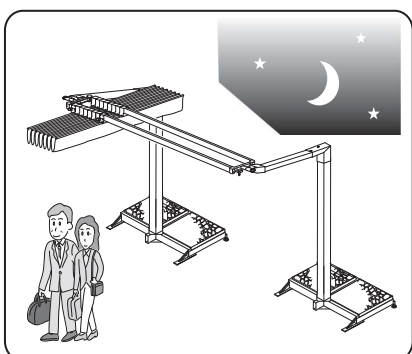
**警告** 柱やシートにぶら下がったり、本品に植木鉢等重いものを吊り下げないで下さい。



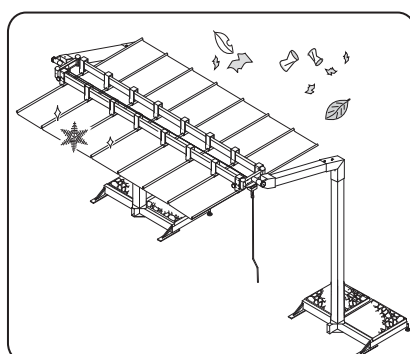
**警告** 強い風雨の時、積雪の際にはシートを収納して下さい。



**警告** 化学薬品は変色などの原因となりますので、洗い流してください。また独自の判断で本品の強度が落ちるような仕様の変更はしないでください。



**警告** 夜間や外出の際には、急な天候の変化により本品を破損する恐れがありますので、必ずシートを収納して下さい。



**警告** シートが凍結している場合は、解けるまで待ってから操作して下さい。また、ゴミ等がある場合は、取り除いて下さい。

**警告** 本製品を移動させる際は、解体してから移動して下さい。

**警告** クランクハンドルは操作時以外は、外して保管してください。

■ お問い合わせは

 **東京ガーデニングスタイル**  
TOKYO GARDENING STYLE

TEL 059-340-4100